

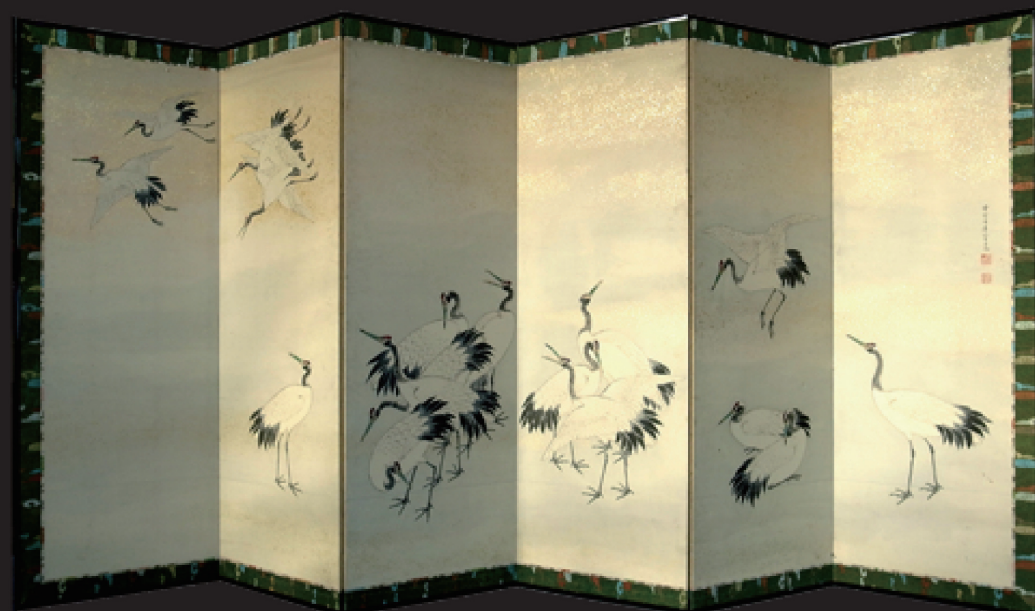
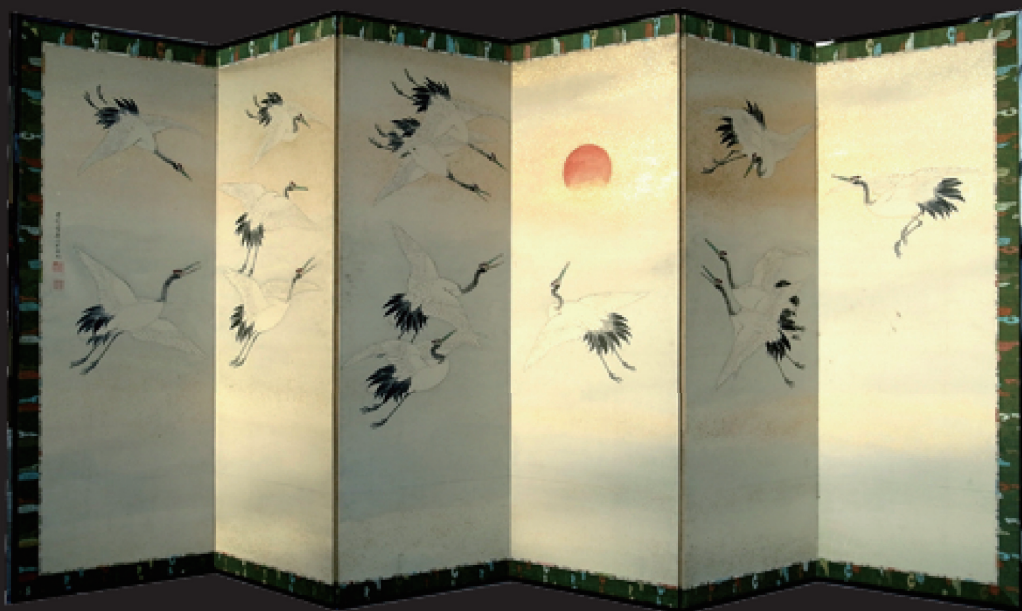
平成 30 年度 飯山市美術館ギャラリー展

佐久間雲窓展

2019

3月2日(土)～4月7日(日)

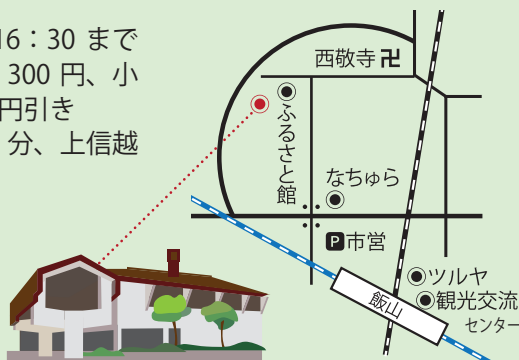
飯山市美術館ロビー&2階ギャラリー



- 開館時間 / 9:00～17:00 ※入館は 16:30 まで
- 休館日 / 毎週月曜日 ●入館料 / 大人 300 円、小中学生 200 円 ※20 名以上のときは 100 円引き
- 交通 / 北陸新幹線飯山駅下車徒歩約 10 分、上信越自動車道豊田飯山ICから約 10 分

飯山市美術館

〒389-2253 長野県飯山市大字飯山
1436-1 TEL/FAX 0269-62-1501



佐久間雲窓(1801～1884)は、江戸時代後期から明治時代中期を生き抜いた郷土ゆかりの画家です。

通称は伴右衛門といい、本格的に絵を勉強したのは 29 歳の年、江戸詰の藩主本多侯に伴い江戸に出てからのことでした。その当初、南画の大家谷文晁の門下、鐫木雲譚(うんたん)について花鳥画を学び、師雲譚の一字をもらって雅号を雲窓としました。さらに、江戸すでに名声を得ていた渡辺華山推薦の逸材椿椿

山の元で研鑽を積んだ後、郷里飯山に帰りました。

雲窓は武士としての公務のかたわら、寸暇を惜しんで身の周りの風物を描き続けたと伝えられていますが、その真骨頂は何と言っても花鳥画にあると言えるでしょう。奇をてらわない忠実な写実画法で描かれた鳥や植物は、逆に観る者に新鮮な印象さえ与えます。

今回、花鳥画による六曲一双屏風を四双同時に展示しますので是非ご覧ください。